

高年齢者と施設がより安心・安全な「お菓子の月間献立宅配システム」の販路開拓

株式会社青木光悦堂

代表取締役 青木 隆明さん



青木 隆明さん

平成26年度 採択事業

時代の流れに沿った経営転換

株式会社青木光悦堂は、120年以上の歴史を誇る菓子卸売業です。明治25年、初代代表である青木タカさんが建仁寺御用達「建仁寺納豆」製造にて創業。2代目が「青木光悦堂」へ屋号を変更し、製造販売から卸売業に業態転換をしました。戦後、3代目がパン・菓子店からスーパーマーケットへ販売先を広げ、かりんとうやおかき等の日本の伝統的な和系の袋菓子「心なごむ故郷の銘菓」シリーズの販売にて基盤を築きました。そして今回の支援事業を担当された4代目青木隆明さん（以下、青木さん）は、北は仙台から南は鹿児島まで、こだわりのスーパーマーケットでの専用販売コーナーを作り、その数は361店舗に及びます。本社敷地内にアンテナショップ「幸悦庵」を開設し、また一般消費者が直接購入が可能となるようWeb店を開設しました。「喜び創造企業」の理念で、本物のお菓子と共に信用と感動を売ることを目指しています。

卸売業から小売り業へと展開している背景には、ケース単位での販売を行う中、消費者から小ロットでの販売を望む声があります。これに対応するため、「幸悦庵」やWeb店にて小ロット販売で発生する端数を売り切る仕組みを構築しました。また、人口減少により卸売市場が縮小していく中で、長い将来を生き残っていくのは困難と感じ、今回の支援事業にて異業種への販売強化を行いました。



売店の様子

高齢者に向けたお菓子の注文販売の強化

シリーズ販売してきた「心なごむ故郷の銘菓」は高齢者が幼い頃に食べた懐かしさを感じられるお菓子です。第26回全国菓子大博覧会にて、「輪切り梅鉢」が全菓博栄誉大賞を、「やわらかいピーナッツせんべい」が厚生労働大臣賞を受賞。取引先からも味には定評があり、「美味しかった」との声が多く、「お年寄りが食べやすい」「血糖値が気になる方向けのお菓子が欲しい」といっ

福祉向上・子育て支援

た要望にも対応できる開発販売経験をもちます。また、200社もの仕入・外注先があり、商品開発のバックアップによる改善力があること、季節の商品をシリーズ展開する力、消費者目線でパンフレット・POP・パッケージを作って提案する力があることを強みに展開されています。

その強みを活かすべく、高齢者社会のニーズにアンテナを向け、デイサービスセンターやケアハウスなど高齢者施設向けにお菓子を宅配するサービスを構築しました。多くの高齢者施設が「3時のおやつ」の時間を設けていますが、おやつ調達には給食業者に食事と一緒に任せたり、職員自身が購入されています。忙しい業務中、メニューを考えるのに時間がかかり、予算も気になり、健康面から甘いものが食べられない利用者も多く、どうしても無難で似たようなお菓子の繰り返しになってしまいます。2000アイテム以上にのぼる豊富な品揃えの中から、咀嚼力などの利用者の健康面や安全面に配慮しながら味にこだわったお菓子を、週単位や月単位で定期的に届けるという取り組みです。この事業は、京都商工会議所「知恵ビジネスコンテスト」にて認定を受けました。



告知ポスター

お年寄りに笑顔の花を咲かせ、生活に潤いを

販売方法は「お菓子の献立表を施設に配布し、注文による宅配販売」と「直接施設に伺いお菓子を販売する訪問販売」の方法で行いました。気軽に注文や問い合わせができるように、FAX・電話・ホームページにて対応しています。ホームページは施設担当者への商談における情報収集や信頼に繋がる手段であること、また問い合わせの窓口ともなるため、この度新設しました。

また、施設入居者のおやつだけでなく、お見舞い客やお世話になっている施設職員へ、さらには入居者同士のプレゼントのニーズに応え、プチギフトやプレゼントとなるお菓子を提案し販売しています。利用者・入居者の誕生日をはじめ、ひな祭りや節分などの行事にあわせたイベント用のお菓子を提案し、施設側のイベント準備の負担軽減もはかりました。

このような宅配や訪問販売では、消費者の生きた声を聞くことができ、企画開発力や仕入れ先メーカーとの関



訪問販売の様子

係を使い、ニーズに合ったお菓子、新商品開発に繋がるメリットがあります。また高齢者や施設職員の方にも、自分のアイデアで新しいお菓子が誕生する喜びも提供できます。施設の利用者は外部との関わりが少ないため、訪問販売は会話の楽しみになり、嬉しさに繋がる。いつも部屋で過ごしていた方が外に出て家族とのコミュニケーションも増えた、と利用者の家族からも好評です。このようなお声が営業担当の励みにもなっていると、青木さんは話します。

一方、訪問販売はお年寄りへの無理売りにも繋がる恐れがあり、実際についつい買いすぎてしまう利用者がおられるなど今後の課題もあります。コストがかかる反面、売上は伸びない現状があり、これからも工夫が必要です。宅配販売では、デイサービスは利用者数の変動が多く、数日前の注文では個数の管理が難しいこと、利用施設は現在16件あるが、利益面からは200件はないと厳しいことが、問題としてあがってきています。利益があがらない以上は、一度はサービスを止めることも可能性はありますが、システムの再確認や担当者の人選の見直しを行い、継続していきたいと考えています。「困難は多いが、ビジネスモデルとして、営業努力により成功させたい」と、社員一丸となって今後も取り組んでいきます。

事業概要

株式会社青木光悦堂

http://aokikouetudou.com

代表：代表取締役 青木 隆明

業種：菓子・パン類卸売業

創業：明治25年 設立：昭和51年

住所：〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町30-3

TEL：075-592-8773 FAX：075-592-8370